

「第 13 回関西学生研究論文講演会」報告

【報告者】田原 樹 (関西大学)

【日程】2015 年 3 月 9 日(月) 13:00 - 18:00

【参加人数】46 名 (教員 13 名, 学生 33 名)

【開催場所】大阪市立大学 学術情報総合センター 本館(杉本キャンパス) 10F

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

【報告】

関西学生研究論文講演会は本年度で 13 回目を迎え、大阪市立大学工学研究科にて開催された。発表プログラムは午後に各 3 分間のショートプレゼンテーション、ポスターセッションと、昨年までと同様の形式で行なわれた。9 大学(奈良先端科学技術大学院大学, 和歌山大学, 関西大学, 大阪大学, 京都工芸繊維大学, 立命館大学, 徳島大学, 神戸大学, 大阪市立大学)より計 25 件の講演があり、活発な議論が行なわれた。講演会終了後、大阪市立大学工学研究科電子情報系専攻光電子工学研究室の見学会と、懇親会が開かれた。

講演会の 1 週間前に、ショートプレゼンテーションの表紙を卒論発表ではなく外部発表向けに記すことや、ポスターの説明を手短に行うことなどが記された「関西学生研究論文講演会発表の手引き」を野村先生(和歌山大学)よりいただき、山本先生(宇都宮大学)からの「3 分の発表では 800 文字の原稿を作る」アドバイスとともに講演者に配布した。これらのご助言もあり、各講演者が周到に準備し研究発表が円滑に行なわれた。結果、プレゼンテーションはスケジュール通りに終了した。ポスターセッションでは、前後半の 2 グループにわかれ、それぞれ 60 分間ずつの発表が行なわれた。学生間の議論も活発であったことから、大学間の研究交流が伺える。見学会では大阪市立大学光電子工学研究室の設備・技術紹介が行なわれ、活発な研究議論が展開された。懇親会には 42 名の参加があった。より親睦が深まったと期待している。

教員 12 名の審査により優秀講演賞の選出が行われ、題目「アキシコンレンズを用いた PMMA 内部のフェムト秒レーザー加工」を発表した立命館大学 松代 悠さん、題目「明環境下における蛍光タンパク質イメージングを実現する埋植用自己リセット型 CMOS イメージセンサ」を発表した奈良先端科学技術大学院大学 山口 貴大さんの 2 名に賞が授与された。本年、学部生の中では 3 名が同点で次点であった。優秀講演賞の規定より受賞者が発表件数の 10%程度に限られるため、過去の OPJBP 賞での扱いを参考にして、受賞人数が規定を上回ることはできないと判断し、上記 2 名の選出となった。1 位が同点で並ぶようなケースも起こり得るため、優秀講演賞の規定を、人数ではなく、順位で定義するなどの改訂を行うことが必要である。

本年は、開催地である大阪市立大学の現地実行委員 宮崎大介先生をはじめ、大阪市立大学 光電子工学研究室の皆様のご尽力により開催・無事終了することができました。ここに御礼申し上げます。